

令和4年3月22日

# 学校評価特集号

後期 家

～ 振り返りを次年度へ～

京都市立岩倉南小学校  
校長 石田 和三

平素より、本校の教育活動に多大なご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

子どもたちや学校を取り巻く状況が日々変化する中でも、教育活動を進めてこられましたのも、保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

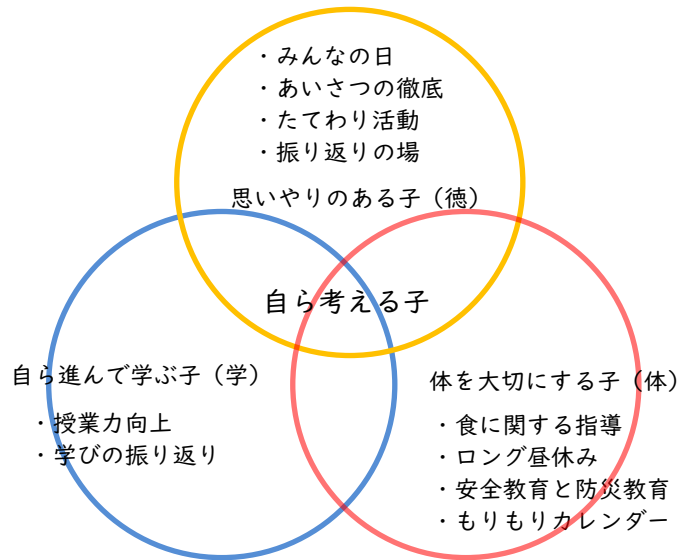
特にこの数ヶ月は、新型コロナウイルス対応に追われる日々でした。その中でも、わたしたち教職員は、『自ら考える子』の育成という重点目標は達成できたのか」「目標達成に向けた取組の過程はどうだったのか」「次年度、改善していくところはどこか」という振り返りを行ってきました。振り返りにあたっては、子どもたちの姿や声はもちろん、2学期末に行った「みなみアンケート」の結果も手がかりの一つとしています。

この「学校評価特集号」では、わたしたちの振り返りと「みなみアンケート」の結果を、保護者の皆様にお伝えします。

次年度に向けて、取組にもまだまだ改善の余地があります。よかったところも課題も含めて、保護者や地域の皆様と共有することで、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えています。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子の育成  
～笑顔 かがやく 岩倉南の子～



これに先立ち、3/11（金）には、学校運営協議会理事会で、振り返りの内容をお伝えし、理事の皆様からご意見や支援策をいただきました。ご紹介します。

◇ 「自ら進んで学ぶ子」の育成に向けては、探求型の学習や体験を通した学習が効果的であると考えます。岩倉南学区には、子どもの学びを支えていける様々な専門家や豊富な人材がいる。学校運営協議会や企画推進委員会は、そのような人たちと学校、子どもをつなぐ窓口としての役割を担っていきたい。

◇ 挨拶については、学校も働きかけてくれていると思うが、本来、家庭で身につけておくことではないだろうか。挨拶に限らず、登下校時に子どもの送迎に来る車の運転や駐停車のマナーなど、大人自身が「豊かな心」を育み、自分たちの姿で手本を子どもたちに示していくことが必要ではないだろうか。

◇ 登下校時の子どもたちの様子を見ていて、横に広がったり急に飛び出したり、非常に危ないと感じることがある。交通安全の見守りはこれからも続けていくが、学校でも安全教育を進めてほしい。

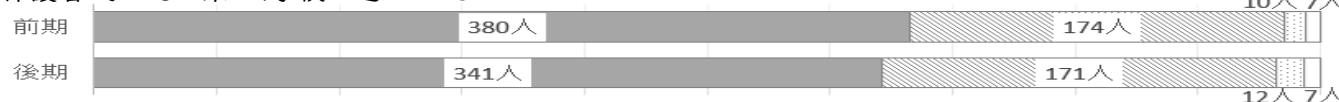
～重点目標「自ら考える子」の育成や「思いやりのある子」（徳）の育成に関して～

■ そう思う    ▨ 大体そう思う    □ あまりそう思わない    □ そう思わない

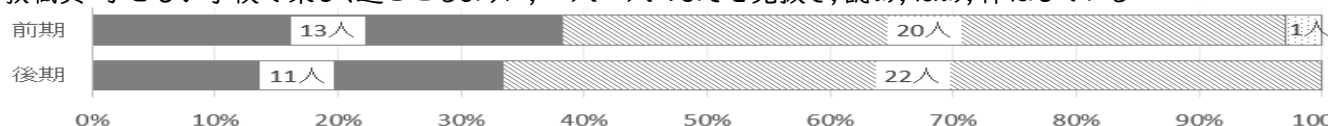
子ども：学校に来るのが楽しい



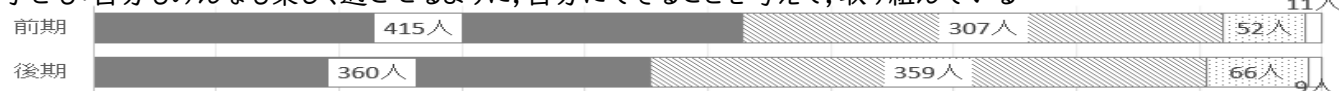
保護者：子どもは楽しく学校に通っている



教職員：子どもが学校で楽しく過ごせるように、一人一人のよさを見抜き、認め、ほめ、伸ばしている



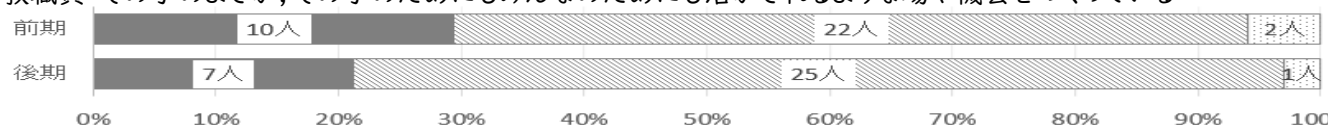
子ども：自分もみんなも楽しく過ごせるように、自分にできることを考えて、取り組んでいる



保護者：子どもが、自分の力を自分やみんなのために発揮できるように、背中を押している



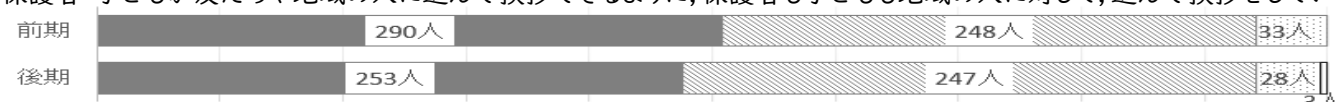
教職員：その子のよさが、その子のためにもみんなのためにも活かされるような場や機会をつくっている



子ども：自分から挨拶をしている



保護者：子どもが友だちや地域の人に進んで挨拶できるように、保護者も子どもも地域の人に対して、進んで挨拶をしている



教職員：子どもと挨拶をするときに、子どもの名前を呼んで挨拶をしている



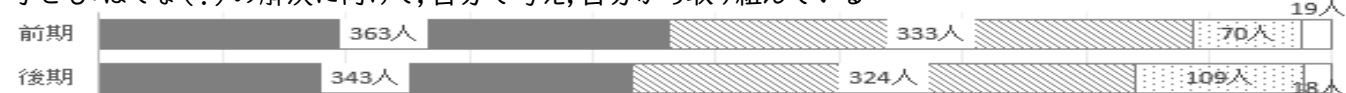
低学年に優しくしたり、誰かのために意欲的に何かに取り組んだり、岩倉南小の子どもたちの心優しい面は、様々な場面で見られます。ペア学年でのたてわり活動では高学年が低学年に一人一台端末の使い方を教えたり、オンライン会議を使つての「みんなの日」では6年生が司会をしたりと、他者との関わりの中で子どもたちが自分のよさを発揮できる機会を設けるようにしてきました。どの子も「自分の力を自分だけでなく他の誰かのためにも発揮できた」「学校は楽しい」と思えるように、引き続き、わたしたち教職員にできることを考えていきます。

挨拶については、子どもたちへのアンケート結果は前期と後期で大きな変化は見られません。ただ、見守り活動をしている交通安全ボランティアの方や教職員からは、子どもたちから挨拶が返ってこないという声も聞きます。もちろん、目を見て自分から挨拶をする子どもたちもいます。時間はかかっても、まずは、大人がお手本となるしかないのかもしれません。

～重点目標「自ら考える子」の育成や「自ら進んで学ぶ子」（知）の育成に関して～

■ そう思う    ▨ 大体そう思う    □ あまりそう思わない    □ そう思わない

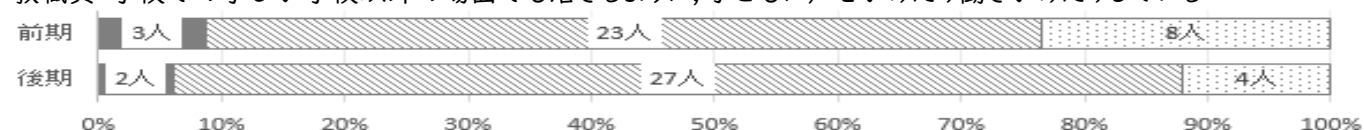
子ども: はてな(?)の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



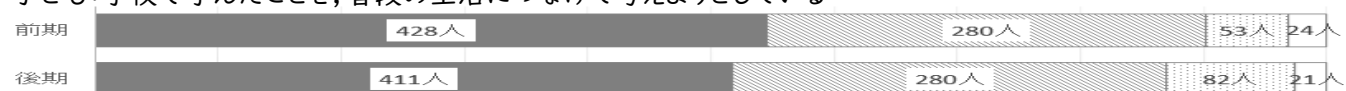
保護者: 自分で考え、自分から取り組む姿勢が身に付くように、子どもに寄り添っている



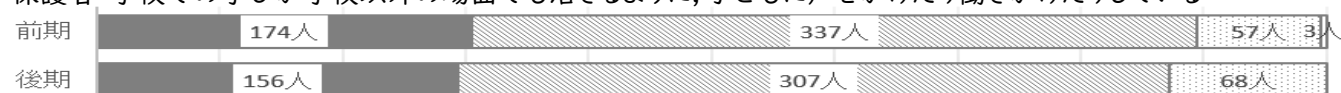
教職員: 学校での学びが学校以外の場面でも活きるように、子どもに声をかけたり働きかけたりしている



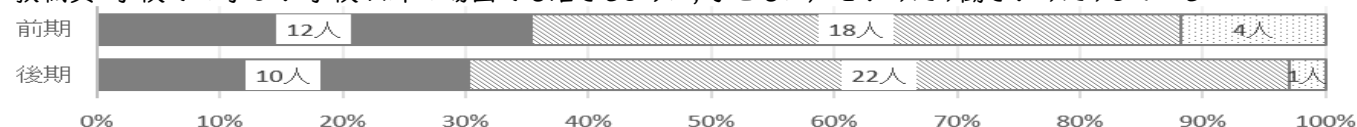
子ども: 学校で学んだことを、普段の生活につなげて考えようとしている



保護者: 学校での学びが学校以外の場面でも活きるように、子どもに声をかけたり働きかけたりしている



教職員: 学校での学びが学校以外の場面でも活きるように、子どもに声をかけたり働きかけたりしている



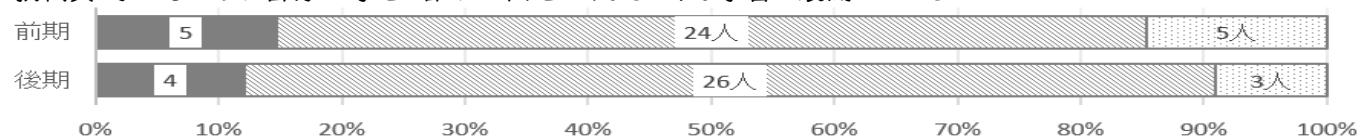
子ども: 友だちと考えを伝え合うことが好きだ



保護者: 子どもとコミュニケーションを図るときは、双方向のやりとりを意識している



教職員: 子どもたちが自分の考えを誰かに伝えたいような学習を展開している



授業を改善することが「自ら考える子」や「自ら進んで学ぶ子」の育成につながると考え、まずは、教員の授業力向上に取り組んできました。今年度は、すべての教員がお互いに授業を公開し合ったり、どのようにすれば、子どもたちの中にある「なぜ?」「調べたい!」「やってみたい!」を引き出すことができるか、学年や教科を超えて授業づくりを行なったりしてきました。

アンケートを見ると、授業力向上に対する教職員の意識は向上しているようにも見えます。ですが、子どもたち自身の実感としては、まだまだのようです。

学びの主役は子どもたちです。「どのようにすればこの子が～を理解できるようになるか」だけでなく、「どのようにすれば、この子が、～を理解するための学び方を身に付けることができるようになるか」という点を大切に次年度も授業改善に努めていきます。



～重点目標「自ら考える子」の育成や「体を大切にする子」（体）の育成に関して～

■ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない

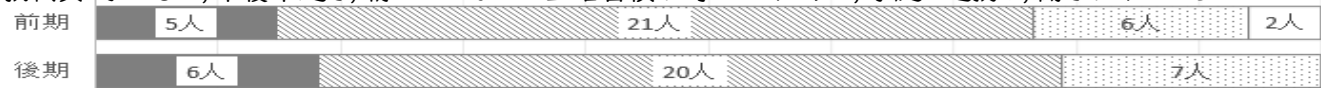
子ども: 早寝, 早起き, 朝ごはんなど, 規則正しい生活を送っている



保護者: 規則正しい生活習慣づくりに, 子どもと一緒に取り組んでいる



教職員: 子どもに, 早寝早起き, 朝ごはんなどの生活習慣が身につくように, 家庭と連携し, 働きかけている



子ども: 好き嫌いをなく, 給食を食べている



保護者: バランスのよい食事をとることができるように, 家庭でも取り組んでいる



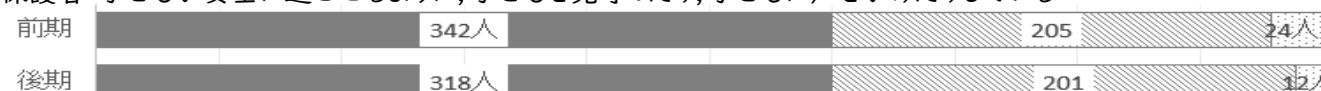
教職員: 給食を好き嫌いをなく食べるよう, 指導している



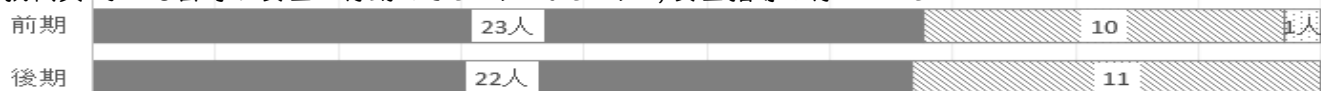
子ども: 階段や廊下を歩き, 安全に気を付けて生活している



保護者: 子どもが安全に過ごせるように, 子どもを見守ったり, 子どもに声をかけたりしている



教職員: 子ども自身が安全に行動できるようになるように, 安全指導を行っている



黙食の徹底により, 向かい合って会話をしながら食事を楽しむことはできませんでしたが, そのような中でも, よく食べ, 「好き嫌いをなく食べること」への子どもたちの意識も向上してきたようです。休み時間になると, 寒さに負けず, 運動場に出て遊ぶ子どもたちの姿がたくさん見られました。「よく食べ, よく体を動かす」というよい循環が生まれています。

あとは, 睡眠時間を確保できるように, 引き続き, ご協力をよろしくお願いいたします。

安全面では, 広がって歩いたり, 信号や車を確認せずに飛び出したりと, 登下校時の子どもたちのマナーを心配する声が, 地域の方から寄せられることもあります。早すぎる時間帯の登校も気になります。何度もお願いしていますが, 登校時間は午前8時から8時25分です。これより早いと, 通学路でも校内でも見守りの目が届きません。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。